

# 「にあんちゃん」など2作品上映

唐津市国際交流協会は12月4〜6日、「唐津に縁のある映画会」を同市南城内の市民交流プラザで開く。「にあんちゃん」(1959年)と「ドルフィン・マン」(ジャック・マイヨール、蒼く深い海へ)(2017年)の2本で、上映前に映画と関係が深い人が思い出話を披露する。入場無料。

市民に昔の唐津や美しい自然、歴史の変遷を再認識してもらい、街づくりのヒントにしてほしいと、同協会が初めて企画

## 唐津に縁のある映画会

「にあんちゃん」は旧肥前町の入野小5年生、安本末子さんの日記を基にした作品。故今村昌平監督が唐津市などでロケをした。韓国から炭鉱労働者として移住し、貧しい中にも明るく生

## 来月4〜6日、市民交流プラザ

きる一家の様子をつづる。ドルフィン・マンは幼少時代から唐津の海を愛したフランス人タイバー、ジャック・マイヨール(1927〜2001)をテーマにドルフィン・マンが4、6日午



「唐津に縁のある映画会」のチラシ

後5時と5日午後2時(5日は思い出話含む)。往復はがきに鑑賞希望日時と作品(複数可)、鑑賞者名(複数人可)、代表者の住所、電話番号を記入し、〒847-0821唐津市町田1-8の502、唐津市国際交流協会事務局に申し込む。11月20日締め切り(消印有効)。定員は1回65人。応募者多数の場合は抽選。井上さん090(4352)(野村創)

# 「佐賀と札幌のゆかり感じて」

北海道大の同窓会眞支部は23日午後1時から、「佐賀の七賢人」の一人で、北海道の調査と開拓に尽力した佐賀藩士の島義勇(1822〜74)についての講演会「北海道開拓に見る島義勇の足跡と開拓者精神」を、佐賀市兵庫北3丁目佐賀勤労者総合福祉センターで開催する。入場無料。

島は幕末、10代藩主鍋島直正の命を受けて蝦夷地や樺太を調査。維新後は明治政府から開拓使首席判官に任命され、札幌の街づくりに取り組んだ。道内では「北海道開拓の父」「判官様」と親しまれている。

## 北海道の調査と開拓に尽力

## 島義勇テーマに講演会

講演会では札幌観光ボランティアガイドの望田武司さん(77)が講師を務める。島が北海道開拓で残した功績や精神、島と同じく札幌の街づくりに尽力した人々についても語る。

23日、佐賀市で

同窓会眞支部長代理の太宅公一朗さん(68)は「島を通して、佐賀と札幌のゆかりを感じてほしい」と参加を呼び掛けている。問い合わせは大宅さん090(7461)462。(米村勇飛)

## 生の語り芸堪能して

### 玉川奈々福 浪曲ライブ

### 29日、佐賀市の浪漫座で

浪曲師玉川奈々福さんの浪曲ライブ「浪花節 玉川奈々福」が29日午後5時から、佐賀市柳町の浪漫座である。企画した田辺淳子さんは「コロナ禍のこんな時こそ、生の語り芸を堪能してほしい」と呼び掛ける。浪曲は節(歌)と啖(せりふ)、三味線による語り芸。玉川さんは浪曲と落語や日舞、オペラなどの芸能との融合に挑戦するなど

の意欲的に活動している。浪曲を知らない人にも魅力を伝えようと全国で公演。コロナ禍でも動画配信などを続けている。当日は古典と新作を一席ずつ披露。三味線演奏は福岡県大牟田市出身で「曲師の最高峰」とも称される沢村豊子さんが務める。検温や手の消毒をしてマスクを着けて入場する。定員100人。予約3千円(当日3500円)。田辺さん090(5283)983。(平峰麻由)



8日夜遅く、「建物火災発生」と火災情報がメーリングで来た。消防に確認すると「西宮社」で火事が起きたとのこと。まさか、と半信半疑で急いで現場に向かうと、真っ暗な空に煙が上がり、神社は崩れ落ちていた▼ここには佐賀市の町おこし団体が行う「恵比須様巡り」の一つに認定された本殿を見つめられた。10月、団体に取材した時に知り、えびす様を訪れたいと思っていたに祈った。(岩崎)

83。キャッチコピー 伊万里市が募集 観光振興などに活用 伊万里市は、観光振興や企業誘致などに活用する新たなキャッチコピーを募集している。採用された人には賞金1万円(中学生以下は同額の図書券)と市の特産品5千円相当を贈る。市はこれまで対外的なPRでは慣習的に「やきもの」とフルーツの里」の宣伝文句を用い、市民にも定座

町大浦98。13日午前、前町新市場の肥前産時間前からお参りできる(のぶ)さん。

八坂 秀治さん 11日死去 町神六22925。14日午前、市轄野下宿のJALホテルの自JALホテルに於いて、83歳で死去。妻、幸子(シズ子)さん。

尾崎 康英さん 12日死去 分32243の6。12日午前、JAFホテル鹿島二より、89歳で死去。妻、幸子(シズ子)さん。

堤 久美子さん 11日死去